

2025 年 10 月 6 日

住友理工、「CEATEC 2025」の 電池サプライチェーン協議会（BASC）ブースへ参画 ～断熱技術で電池の安全性と長寿命化に貢献～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、10月14日（火）～17日（金）に幕張メッセ（千葉市美浜区）で開催される「CEATEC 2025」の一般社団法人 電池サプライチェーン協議会（以下、「BASC」）ブースへ参画します。当社品を CEATEC へ展示するのは、今回が初となります。



ブースイメージ

BASC ブースでは、「動かせ。未来を。」をテーマに、電池サプライチェーンの全体像や参画各社の強みをご紹介します。当社は、電池の安全性に寄与する部材として「電池セル間断熱材」を展示予定です。

BASC は、日本、そして世界の電池産業に貢献していくことを目指し、2021 年 4 月に設立されました。当社は、BASC の主旨に賛同し、2023 年 12 月より加入しています。当社コアコンピタンスの一つ「高分子材料技術」を、カーボンニュートラル社会実現の鍵を握る電池市場へ拡大し、安全・安心・快適を支えるとともに価値共創の加速を目的として、本ブースへの参画を決定しました。

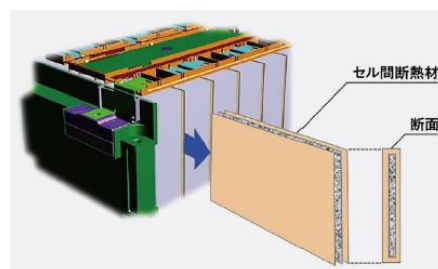
<開催概要>

展示会名	CEATEC 2025
会期	10月14日（火）～17日（金）
会場	幕張メッセ
ブース No.	5H020
URL	https://www.ceatec.com/ja/

<展示品紹介>

>> 電池セル間断熱材

薄膜高断熱材「ファインシュライト」の技術をさらに発展させ、軽量かつ数百℃の高温に耐えられる断熱材をリチウムイオン電池向けに開発しました。セルの膨張収縮を吸収する圧縮特性と、セルが異常発熱した際には隣接するセルへの熱連鎖を抑制する断熱性能で、電池の安全性と長寿命化に貢献します。



<BASC 「CEATEC 2025」出展のお知らせ>

<https://www.basc-j.com/news/?id=78>

以上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（自社調べ）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>